

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	30	枝番	1
評価担当課	こども未来課こども未来係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	幼稚園からのアプローチ			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	2	幼児教育の振興
		基本事業	2	小学校との連携
		実施計画事業	1	教育機能の相互理解の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	幼稚園と小学校間での情報共有を促進することにより、就学に向けてより円滑な接続・移行に努める。			
対象(何を又は誰を)	幼稚園に就園している就学予定の子ども。			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	幼稚園での子どもの記録(指導要録)を提供することにより、小学校側へ円滑な引継ぎを行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	子どもや保護者へ就学に向けての不安等の軽減を図り、小学校では受け入れ態勢の円滑な準備を行う事が出来る。			
事業実施主体	各幼稚園			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他(各私立幼稚園)
事業実施期間	始期	H18年度	終期設定	有(終期年度) ・ 無
根拠法令・条例等	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の促進に関する法律			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位					目標年度 (年度)
			H22	H23	H24	H25見込	
活動指標	1		目標				
			実績				
	2		目標				
			実績				
	3		目標				
			実績				
成果指標	1		目標				
			実績				
	2		目標				
			実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	-	-	-	-	
事業コスト					
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	幼稚園側からのアプローチは運営基準で定められており、名寄市内の私立幼稚園もこの規定を遵守し運用しています。
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？	a	小学校教育への円滑な接続・移行のため、有効な手段と考えます。
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	経費はかかっています。
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	経費はかかっています。
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？	a	全幼稚園で実施しています。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	今後も継続の必要な事業である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	一次評価のとおり

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	児童の円滑な就学のため、必要な事業であり、今後も継続する必要がある。